

Sea Times

6
JUL 2003



ニリンソウ
(4月 テニスコートの奥)



サツキ
(5 - 6月 附属幼稚園前)



ヒメシャラ (6月 附属高校前)



アジサイ (6月 生活科学部本館)



ユキノシタ (5 - 6月 西門付近)
構内の植物 生活環境研究センター佐竹元吉教授提供

記事

表紙・目次.....	1	「本学のセクシュアル・ハラスメント 防止への新たな取組み」.....	5
お茶の水女子大学の行方 伝統とブランド.....	2	生活Q & A 形態安定繊維.....	6
お茶の花とお茶の水女子大学.....	3	文京区の水.....	7
大学ホームページの新規則について.....	4	大学見学会と後期公開講座の案内・編集後記.....	8
アフガニスタンから来た校長先生の家庭訪問.....	4		

お茶の水女子大学の行方 伝統とブランド



本田 和子 学長

法人化を目前に、いま、中小規模の国立大学関係者の集まりで、必ずといってよいくらい口にされる話題がある。すなわち、法人化されたそれぞれの大学は、今後、どのようなレゾナントルを掲げて生き延びていくかという話題である。歴史と伝統、そして、現在の規模・設備・人員の全てに渡って恵まれた旧帝大系は別として、一九四九年の学制改革で一斉に大学となったいわゆる新制大学は、いま、改めてその存在意義を問い直されているのである。

そんなとき、私どもの耳に囁かれるのが、「お茶大はいいですね、とにかくブランドだから」という言葉である。その囁きは、規模の小ささのゆえに、将来の存続を危惧している私ども本学関係者たちへの慰めなのだろうか。それとも、本当に、お茶大のブランド力にながしかの価値を見いだしている人たちの羨望の表現なのだろうか。

ある大手予備校の関係者が、女子大の存続に関して、アメリカの例を引きながら、次のような意見を述べたことがある。

すなわち、アメリカ合衆国では、一九六〇年前後の公民権運動の影響もあって、女子大は男性を排除するから教育上の差別であると指摘され、共学への転換要請がしきりであった時期があった。建国の初期に東部に誕生して一世に余の伝統を持つ女子大の幾つかが、

共学へと改組転換を余儀なくされたのもその一連の動きであろう。しかし、その波を何とか凌いで、女子教育の伝統を守ろうと試みた女子大も少なくなかった。にもかかわらず、それらの女子大もその後の少子化の波に抗し難く、受験人口の倍増を狙って共学へと転換する例が増えつつあるのが現状である。こうした状況を見ると、今後アメリカの女子大は以下のような二極化を遂げるであろうと推測される。すなわち、共学化して特色の無い小規模カレッジへと転換するものと、「伝統を守って存続し続ける名門女子大との二極」に。そして、この傾向は、日本の場合も同様と考えてよいのではないだろうか。

確かに、日本の場合も、最近の私立女子大学の共学転換への動きは、この見解を裏付けて余りあると言えそうである。そんななかでいわゆる名門私立女子大が、その特色を鮮明にし、広報活動を活発化するなどして受験生を増やしつつある現状は、「共学化と女子大特色鮮明化」という女子大の二極化を物語っているように。女性指導者の育成という建学の精神を守って、女子大であることにためらいもなく、微動だにしないこれら私立女子大学の健闘ぶり。それは、私たちにとって、十分に範とするに値する頼もしさなのだから。

長い時間の中で育まれた伝統は、仮にその制度や外形が変わったとしても神髄は廃絶され得べくもなく、密やかな水脈として流れ続けるという見方もある。しかし、一度壊滅に瀕するならば、その復元が困難であるものも少なくない。いま、私たちに求められているのは、「変えてはならないもの」が何であり、「変えることの出来るもの」が何であるかを、賢く見定め分別する視力ではないだろうか。仮に本学が女子教育の名門に数えられ、そ

の伝統に関しては人後に落ちないと誇ることが出来るかすれば、いま、それを、格別の公算も無しに手放すの愚は避けねばならない。「優れた女性を育ててきた」という伝統、それは、知的・教育的資源として、十分に活用可能なものである。伝統校がしばしば優位に立つのは、そうした掛け替えの無い貴重な資源を有しているからであり、その資源は、時間の堆積に裏付けられているがゆえに容易に他の追随を許さぬものである。「お茶大はブランドだから」と耳に囁かれる言葉は、「ブランド」という比喩に託して、こうした伝統の価値を指し示していると言ったことが出来るであろう。

ところで、資源は活用されなければ資源としての価値を発現することはない。「女子を育てる」という歴史的営みが、手放し難い伝統であり、活用すべき「資源」であるならば、私どもの努力は、従来に増してその資源の活用のために注がねばならない。女性は「どのような条件」が用意されたとき、「どのような営み」をよりよく遂行し得るのだろうか。少子化の進む将来の人口状況を考えるとき、女性の各種社会活動への参加は、従来に増して要請され、その条件の整備は、従来とは比較にならない重要条件とされねばならない筈である。何故なら、従来のな仕方ですれが遂行されるならば、女性の力は、従来程度にしか発現され得ず、少子化に悩む先進諸国は、将来ともに深刻な人知力の不足に悩まねばならないだろうからである。私たちが、いま、「女子教育の名門校」というブランドを与えられていて、その伝統的資源に恵まれているとしたら、その有効活用こそが、私たちが現在果たすべき責務であり、今後に委ねられた課題でもあると言い得よう。

お茶の花とお茶の水女子大学

山西 貞 (お茶の水女子大学名誉教授)

お茶大の学章はお茶の花である。それでこの表題で一文を書かせて頂くことにした。

茶樹の花芽は夏から秋(六月〜十一月)にかけて次々と分化発育してゆくので、三カ月以上に亘って白い花を見ることが出来る。お茶大の理学部三号館の前に育てられている小さな茶樹にも、白い可愛い花をつけているのを去年十一月頃見ることができた。

茶樹はツバキ科の植物で常緑樹である。品種には小葉種 *Camellia sinensis* と大葉種 *Camellia assamica* がある。日本の緑茶は小葉種からつくられる。セイロン紅茶やインドのアッサム紅茶は大葉種からつくられている。大葉種は花も大きめである。

お茶の花は優雅なほのかな香りを漂わせる。この香りに誘われて、蜜蜂や蝶が飛んできて蜜を吸う。蜜蜂は朝に星を戴いて出で、夕べに月を背負っ



茶畑

て帰る勤勉な昆虫といわれる。蝶は終日、花から花へと羽も忙しく翔け回る。

こうして茶の花の花粉は蝶や蜂などの昆虫によって媒介され、実を結ぶ、虫媒花である。蝶や蜂は茶の花から発散されているほのかな佳香に惹き寄せられるのである。

俳人蕪村は「茶の花」と題し、詩を詠み、また、「茶の花や白にも黄にもおぼつかない」と俳句を残している。

お茶の水女子大学誕生の経緯

明治七年(一八七四年)、文部卿木戸孝充の通達によって、東京女子(高等)師範学校の設立が決定され、神田宮本町(お茶の水橋、聖橋に対する所)に明治八年八月、校舎が落成した。中村正直撰理(校長)により、十一月二九日皇后陛下(昭憲皇太后)の行啓のもとに開校式が行われ、明治三年に東京女子高等師範学校となった。大正十二年九月一日の関東大地震で大被害を受け、昭和七年(一九三二年)文京区大塚町の現在の地に移転した。太平洋戦争を経て、昭和二四年学制改革



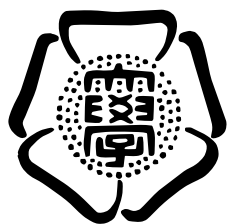
お茶の花

が行われ、東京女子高等師範学校は閉校となり、新制大学となった。大学の名称については、大塚女子大学、国立東京女子大学などの案が出されたが、教授会での投票や審議を経て、文部省の内意も聞き、最終的に「お茶の水女子大学」と決定された。

お茶の水女子大学の学章

東京女子高等師範学校時代の校章は桜花の五弁に曲玉まがたまを配したデザインであった。お茶の水女子大学になって、新しい学章をつくることとなり、それに関しての企画委員会ができ、茶の花に大学と記したデザインが提出された。これについて学生投票が行われ、その結果をふまえ、教授会で最終決定されたのが現在用いられている学章である。

茶の花は純白で凛とした姿をして、優雅な香りをほのかに漂わしている。お茶の水女子大学の学生さん達を示す学章として、お茶の花は誠に適切であると思われる。



学章

余談 お茶特有の渋味の本体が、近年その生理機能が世界中で注目されている四種のカテキン類であることを見つけ、さらにそれらの化学構造を世界で初めて決定し、世界的に有名になられた辻村みちよ先生は、本学理科の卒業生(大正二年)である。先生は本学家政学部(現生活科学部)の初代学部長も務められた。

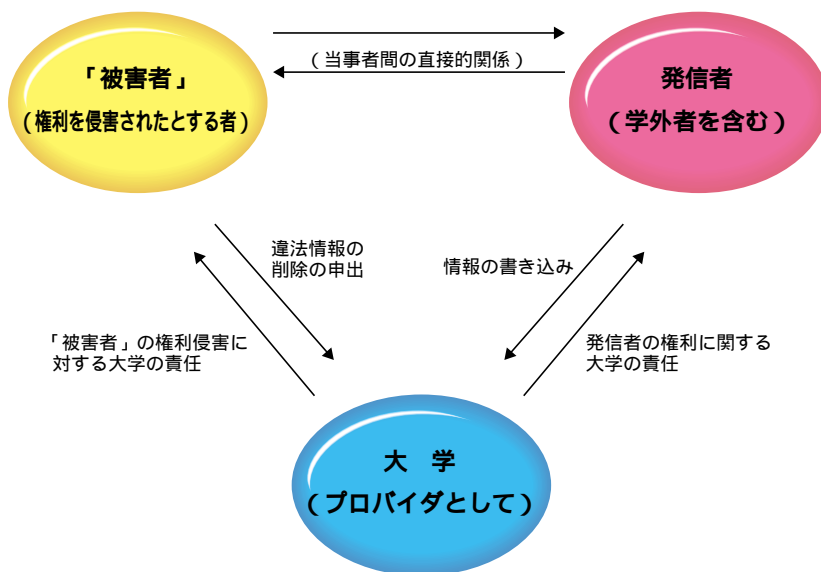
大学ホームページの新規則について

生活科学部助教授 小谷 眞男

このたび、大学のホームページに関する新しいルールである「お茶の水女子大学ウェブ・ページ運営規則」が制定され、すでに二〇〇三年四月一日から施行されています。ここでは、新規則制定の趣旨を御紹介します。

本来、インターネットを利用した大学からの自由な情報の発信は、情報公開という意味も含めて、大いに推奨されるべきことです。しかし、ある情報がインターネット上で広く流通することによって第三者の権利を不当に侵害する恐れがあるときなどには、大学のホームページ管理責任が問われる場合もあります。このような場合には、大学は、プロバイダの一種として、一定の継続にしたがってきちんと調査をおこない、どのような対応をすべきか適切に判断をする必要があるでしょう。

図 大学のホームページ管理運営責任 模式図



ところが、ホームページ上に掲載された情報の内容に関する発信者自身の著作権やプロバイダの権限をめぐる問題には、法律的にみて、現在のところ不明確な点も少なくありません。そこで、大学のホームページを円滑かつ適正に運営するためには、大学・発信者・第三者という三者間の相互関係に関する明確な学内ルールを設定することが必要となります（図参照）。こ

のような理由から、今回の規則が定められることになつたわけです。なお、手続細則などに関する運用指針も合わせて制定されました。

実際の利用の便宜を考慮して、運営規則と運用指針の概要を図解で示したうえで、運営規則の各条文ごとに運用指針や解説的事項などをまとめた運用マニュアルも、近日中に発行する予定です。この運用マニュアルは、冊子体として学内に配布するほか、大学のホームページ上でも公開されますので、是非御参照ください。

（今号発行日現在、運用マニュアルは、学内で配布、及び、URL http://www.ocha.ac.jp/web_sism.pdf で公開されています。

編集室

アフガニスタンから来た 校長先生の家庭訪問

小野寺佳代子（三七年動物卒）



アフガニスタンの先生達と

五女子大学コンソーシアムがアフガニスタンの女子教育指導者を日本に呼んで、国際研修センターで研修をした際に、研修の合間に日本の家庭に行きたいとの希望で、二人の校長先生が我が家に来ました。想像した通り、アラブの堂々たる体躯のおばさまで、床暖房の上に膝を立て、腰を下ろした姿は貫禄でした。ちょうど家にホームステイしていた中国の大学院生、訪日中の上海復旦大学法学部教授とその奥さん、それに町内会の広報仲間二人と総勢十二人の昼食会となりました。ダリ語だというので、英語が通じなかつたらどうしようと、犬と小さい子供は場繋ぎになると、孫（一歳一カ月）を連れて来るように息子夫婦にも声をかけたのです。しかし、一人は非常に流暢に英語を話したのでホツとしました。そんなわけで、中国語、日本語、ダリ語、幼児語、英語が飛び交い奇妙な国際交流パーティーとなりました。一人は高校の校長先生で独身、もう一人の英語を話す人は中学の校長先生で、二三歳の息子がいるとのことでした。戦争の後で、教室も教材も破壊されて、大変だといっていま

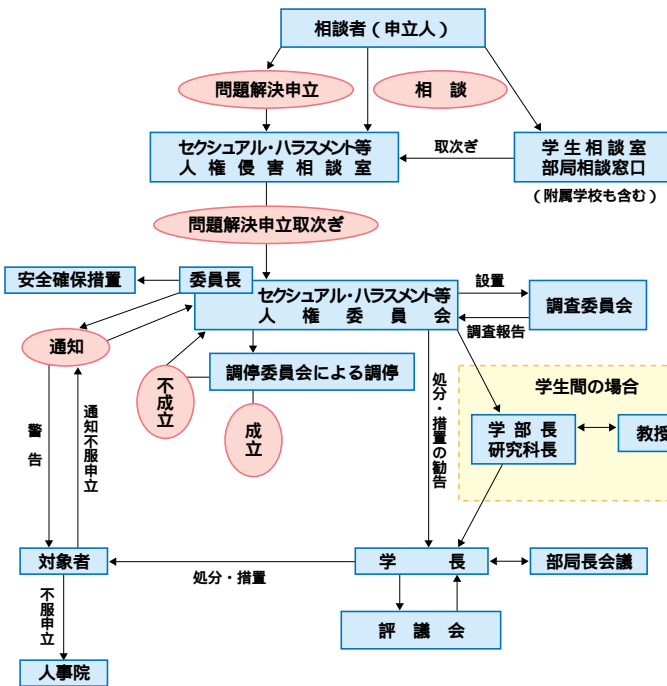
「本学のセクシュアル・ハラスメント防止への新たな取組み」

戒能 民江（生活科学部教授）

大学とセクシュアル・ハラスメント なかなか結びつかない人が多いかもしれない。しかし、そんなことはないのだ。大学ほど、セクシュアル・ハラスメントが起きやすく、隠されやすいところはないと言ってもよい。

セクシュアル・ハラスメントとは、相手の意に反する不快な性的言動であり、そのことにより、学生や教職員の学習・研究・就業環境を侵害することである。

セクシュアル・ハラスメント等人権侵害相談・問題解決支援の流れ



が、一九九九年に学生から被害の申立があり、女子大だからセクハラはないだろうなんて、大きな思い違いであること、そして、本学の取組みの不十分さに気づかされたのである。そこで、本学ではガイドラインや相談体制

周囲から、心ない言葉で傷つけられ、非難・中傷を受けて孤立することがないよう、二次被害の防止を強調した。また、被害を申立てた人の安全や学習・研究環境に、大学が十分配慮すべきことも規定した。第四に防止への

の見直しを行い、二〇〇三年四月から、まったく新たな防止のための取組みを開始した。本学の院生を中心としたセクハラを考えるグループの協力がなければ、取組みの見直しは進まなかったに違いない。新しい取組みの特徴は次のとおりである。第一に、セクハラだけではなく、院生や教員が被害を受けやすいアカデミック・ハラスメント、民族差別や性的指向による差別など、人権侵害全般を対象としていること、第二に

したが、ご本人は大邸宅（二六〇m四方、庭は六〇〇本以上の木がある）に住んでいるので、我が家を見て、どこに寝るのだと聞くので、日本の家は便利で、この日本間が応接間にもなり、居室にもなり、寝室にもなると言ったら、どうしても理解してくれず、とうとう見せたくない押入を開けて、蒲団がしまつてあるのを見せる羽目になってしまいました。女性の会というところで、元裁判官と、中国の教授が、エプロンをして、お茶や味噌汁を運び食器を洗ってくれたのですが、アファガンの女性達はびっくり、夫に見せるからと二人の男性のポラロイド写真を大事に持っていきました。

今回の研修とは無縁な楽しい半日でしたが、もう少し、予備知識があったら、色々聞くことが出来、戦争の破壊を受けた共通の体験を分かち合うことが出来たのではと、後で思い出して残念な気がしています。でもこれは、最初の小さな一歩で、本当に援助を必要としている所まで、行き着くには双方の地道な努力と時間があるのではと思っています。

努力に重点を置いたことである。何と言っても早い時期に相談できることが一番大切だ。大学外から専門の相談員をお呼びして、相談しやすいしくみをつくった。セクハラかどうかかわからないけど、何かおかしいと思っただけでも、ストーカーの悩みでもOK。気軽に専門相談室に行ってほしい。

しくみだけ立派では意味がない。教職員・学生の方がたの関心が少ないと高まることこそ、防止への近道です。

セク・ハラ等人権侵害相談室
月曜日10時～17時 保健管理センター地下にて学外の専門相談員が対応
匿名相談も可
E-mail shsoudan@cc.ocha.ac.jp
TEL 03 5978 5936

生活Q&A

形態安定加工シャツについて

生活科学部生活工学講座助教授 仲西 正



洗濯後のワイシャツの仕上にアイロンがけは必須のものとしました。しかし、アイロンがけ不要の「形態安定加工」シャツが一九九三年に日本で売り出され、今では面倒なアイロンがけの負担は小さくなりました。この形態安定加工シャツとは、いったいどのようなものなのでしょうか。

Q. そもそも、シャツの布にはどうして「しわ」がよるのですか？

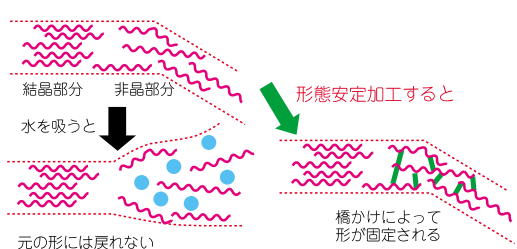
A. シャツの素材である織はセルロースという細長い分子から出来ています。綿の繊維の中には、セルロース分子がきつちりと並んでいる部分（結晶）とでたらめになっっている部分（非晶）があります。綿繊維を水に浸すと、非晶部分に水が入り膨潤し分子が相互に動きやすくなり、変形しやすくなります。繊維を変形したまま乾燥すると変形が固定され「しわ」になります。綿の吸水性と吸湿性はシャツの着用快適性において重要ですが、半面、しわが出来やすい性質を綿に与えていることになりま。

Q. 「形態安定加工」ってなんですか？

A. 綿の非晶部分での分子の相互の動きを止めれば、しわは生じにくくなります。「形態安定加工」とは、非晶部分の細長いセルロース分子を橋かけして互いに動かなくする加工のことです。

Q. 形態安定加工は工場ではどのように行われているのでしょうか？

A. 主に次の二種類の方法で行われています。
 (1) 液体アンモニア加工した布に、架橋剤（樹脂加工剤）を含ませ乾燥させ、裁断、縫製、プレスを行った後、熱処理によって架橋剤とセルロース分子とを反応させ橋かけを作る方法。
 (2) 縫製、プレス後、ホルムアルデヒドガスによって気相中でセルロース分子を橋かけする方法。どちらの方法も、衣服の形になつてから橋かけを行いますので、衣服の折目や縫目などを固定できることが特徴です。



Q. 形態安定加工シャツはホルムアルデヒドを含んでいると聞きましたが？

A. 樹脂加工剤の中には、加工後に時間とともにわずかに分解してホルムアルデヒドを発生するものもありますが、近年では、ホルムアルデヒドを生じにくい加工剤が選ばれるようになりまし。また、ホルムアルデヒドガスで加工した製品のシャツに残存するホルムアルデヒドも、家庭での一回の洗濯でほぼなくなる事が知られています。

洗濯物の乾燥について

生活科学部・生活工学講座助教授 駒城 素子

洗濯後の脱水や乾燥のしかたによって、せっかく形態安定加工処理をしたシャツでも十分その効果を発揮できなくなることがあります。この場合を含め、基本的に、水に馴染み易い繊維製品は脱水の時に力を加えると、しわになります。そこですすぎ終わったら遠心脱水をせずに、バスタオルなどにはさんで水分をできるだけ取ってから、ハンガーで形を整えた後に吊り干しすることをお勧めします。なお、吊り干しをすると自重のため伸びてしまう様なニット製品は吊り干しせず、ネットなどに拡げて平らに干す方が良いでしょう。

梅雨時はどうしても窓を閉め切って洗濯物を部屋に干すということが多くなり、からりと乾かない、とか洗濯物に匂いができたりすることがあります。これは洗濯物が乾くには、布や繊維の表面にある液体の水が蒸発して気体になり、繊維から離れて空気中へ移動していく必要があります。そのためには干す空間に水分が蒸発できる余裕がなければなりません。梅雨時は（相対湿度九〇％の場合など）既にかんりの水分が空間に存在しているためなかなか乾きません。

匂いの原因は、皮脂や汗の成分などの汚れが完全に落ちきらないで残っていると、それを栄養として細菌やカビが繁殖して汚れを分解し、匂い物質ができるためです。細菌やカビなどの微生物が繁殖しやすい条件は、水分が多くて温度も高い（三七）場合です。梅雨時は湿度も高く大体二〇前後ですから、洗濯物に水分がとどまる時間が長いほど、微生物にとっては大変好ましい条件となつていきます。このような事を防ぐには、扇風機で気流を作るなどして乾燥時間を短くすることで、もちろんエアコンの除湿は効果的です。

文京区の水

人間文化研究科人間環境科学専攻助教
（生活科学部生活環境学科生活工学講座）

大瀧 雅寛

そもそも文京区は水に恵まれた土地である。周りを見渡せば緑が多い事に気づくだろう。これはそもそも水が豊富に存在しているという証拠である。そこからあたりをぶらりと散策



古香井（椿山荘提供）

（関口2丁目）などなど。そもそも我が大学の「お茶の水」の名は、江戸時代に神田川脇より湧出した水よりお茶を煎じて二代將軍秀忠に献上したことに由来する。

このように見てみると、文京区は古来より水量だけでなく水質にも恵まれたところであつたと言える。文京区の往時に思いをはせれば、多数ある台地の袖からこんこんとわき出す清涼な地下水に咽を潤し、あるいは昼時に一服のおいしいお茶に心を癒す、そんな原風景を思い描くことができる。

それでは今の文京区の人々はどんな水を飲んでいるのだろうか。生水を飲んだりお茶を沸かすのであれば水道水かペットボトル水であろう。水道の水と言えば、私が本学に赴任してきた時のこと。研究室の蛇口を捻ると「茶

色の水」がドボドボと……。さすが「お茶の水」と感心した覚えがある。まあ、それは老朽化した水道管のせいであり、来年度には建物の改修工事によって、そんな風流なことはなくなるであろうが、そうでなくても文京区の人で、飲料水を近くの井戸や湧き水から汲んでいる人は、そうはいないであろう。

現在の文京区の井戸・湧水（つまり地下水）はどうなっているのだろうか。水質の面から見ると、都内で飲用可能な井戸は、ほんの一握りしか残っていない。文京区もこの例に漏れずほとんどの井戸水はそのままでは飲用不可となっている。従って飲むためには煮沸するか、消毒などの対応をしなければならぬ。また水量の面から見ても湧水量や地下水量は年々減少していると言われる。洵れ井戸の数や湧き水が出なくなった箇所は年々増えており、今や質に関して水量に関しても水に恵まれた文京区というイメージを実感することは難しくなってしまった。

なぜこのようなことになってしまったのかその理由としては様々なことが考えられる。都市化に伴って地面がアスファルトやコンクリートに覆われる。すると降った雨は地面に吸い込まれることなく流れ去る。その結果雨によって地下水が補充されるような流れが遮断され地下水量が減ることになる。また質の悪化に関しては、埋設された下水管からの漏水による汚染の影響や、中には有害な物質の不法投棄による汚染もある。このような状況では安心して地下水を汲み上げて飲むというわけにはいかない。

それでは今我々が日常飲んでいる水はどこから来ているのだろうか。文京区に配られている水道水はそもそもこの水なのだろうか。東京都の水源は大きく分けて二つある。多摩川水系と利根川水系（江戸川、荒川など）である。これらの水源から水を引き、浄水場で処理をして配水する。東京都に浄水を供給

している浄水場は現在十箇所あるが、どこかの浄水場が事故等で配水をストップすることになっても、他の浄水場からの配水でカバーできるように、配水管は相互に繋がられネットワークを組んでいる。そのため違った産地（水源）のミックス水が配られていることになる。というわけで「この蛇口から出てくる水は、川から来た水だから美味しいわ」というような判別はできない。ただしどこに大きく依存しているのかはおおよそわかる。文京区の水道水は荒川・多摩川の両方（東村山・朝霞・三園浄水場）から来ている。取水している場所はどちらも文京区からは遠く十数キロ離れた場所である。

考えてみれば足下に豊富な地下水があつたはずの文京区の人々は、遠い場所からわざわざ水を運んで使っているのだ。これには勿論「昔に比べて居住人数が激増したこと」や、さらには「現代生活が水を大量に使用する様式となったこと」も主な原因であり、地下水の質が悪くなったからだけではない。文京区の様な都心において現代生活を送ろうとすれば、必要な水量をまかなうためには、やはり遠く離れた水源に頼らざるを得ない。

とはいえ、たまにはおいしい地下水をゴクゴク飲んでみたいものでもある。汲み上げた水でお茶を沸かして、ティータイムとしゃれ込みたいものもある。

都内には飲用可といわれる井戸はほとんど無いと述べたが、文京区の中には飲用可能な井戸が残っている。上に挙げた例の中では唯一関口芭蕉庵井戸が飲用可となっている。このように未だ飲用可能な井戸がまだあるという事実も都心においては例外と言つて良く、水に恵まれた文京区の面影をいまだ残すものと言つてよいだろう。

たまには散策がてら井戸や湧き水を訪ね歩き、かつての豊富な地下水源を体感してみるのもいかがだろうか。

